

米国バーネット堆積盆におけるシェールガス
開発事業への事業参加について(IR補足資料)



2013年3月29日

「3つの多様化」

- 東京ガスは、原料調達に関して「3つの多様化」を通して調達価格の引下げを目指す。

「多様化」	「多様化」の内容	現在	将来
①調達ソース	どこから調達するか？	アジア・オーストラリア中心	アジア・オーストラリアを含む世界各地
②契約条件	どのように価格・期間・輸送・仕向地等を決定するか？	・原油連動中心 ・長期契約中心 ・仕向地限定的	・原油連動・ヘンリーハブ連動・NBP連動等 ・期間の組合せ ・仕向地自由化
③LNGのグローバルネットワーク	どのようなネットワーク（バリューチェーン）か？	輸出国と日本の取引中心	グローバルなガス田・発電所等を結ぶネットワーク化

【軽質LNG導入時の限定的な投資リスク】

	想起される影響	リスクに対する回答
リスク①	軽質LNGを扱うための追加投資は発生するか？	当社のLNGタンクの約6割は、異なる発熱量のLNGを扱うことができるタンクである。したがって、追加投資は発生しない見込みである。
リスク②	軽質LNGを扱うノウハウを有しているか？	当社は以前、低発熱量のLNGを輸入していたことがあり、低発熱量のLNGを扱う技術・ノウハウを有している。

「米国シェールガス」権益に投資する目的

- 海外でのLNGバリューチェーン構築に向けた布石とし、チャレンジ2020ビジョンで掲げたLNGバリューチェーンの高度化を推進するため。

	投資目的	内容
投資目的①	上流事業の分散・多様化	豪州等に集中している上流事業の分散・多様化
投資目的②	上流投資による利益確保	米国内上流プロジェクトの投資による利益確保
投資目的③	収益安定化	ヘンリーハブ高騰時の、TGグループトータルの収益安定化